

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年12月9日 (2010.12.9)

【公開番号】特開2010-54878(P2010-54878A)

【公開日】平成22年3月11日 (2010.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-010

【出願番号】特願2008-220703(P2008-220703)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/32 (2006.01)

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/032 (2006.01)

G 0 3 F 7/11 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 F 7/32

G 0 3 F 7/00 5 0 3

G 0 3 F 7/032

G 0 3 F 7/11 5 0 1

H 0 1 L 21/30 5 6 9 E

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月22日 (2010.10.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持体上に光重合性感光層を有する画像形成材料の現像処理方法において、該光重合性感光層の上に含窒素有機化合物を存在せしめた画像形成材料を、p H 9 以下の現像液を用いて現像処理することを特徴とする画像形成材料の現像処理方法。

【請求項 2】

含窒素有機化合物が、固体状の有機化合物もしくは沸点 1 5 0 以上の有機化合物であるか、炭素数 4 以上の有機基を有する有機化合物である請求項 1 記載の現像処理方法。

【請求項 3】

含窒素有機化合物が、アミン化合物、アミド化合物、アミノオキシド化合物および含四級窒素化合物の群から選択される有機化合物である請求項 1 または 2 に記載の現像処理方法。

【請求項 4】

該光重合性感光層がカルボキシル基を有する酸価 1 0 m g K O H / g 以上の高分子バインダーを含有する請求項 1 記載の現像処理方法。